

【実施範囲】
福島県、宮城県、茨城県、
栃木県、群馬県の全域及び
岩手県、千葉県等の一部

【測定地点】
602地点

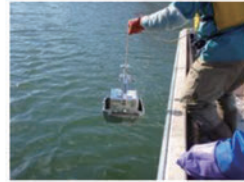
【核種分析】
<試料>
水質、底質、
周辺環境（土壌）

<対象核種>
放射性セシウム
放射性ストロンチウム
(一部水質、底質)等

【頻度】
汚染状況等に応じて、
年に2～10回の頻度で調査。



(河川・水質)



(湖沼・底質)

環境省2019年度公共用水域放射性物質モニタリング調査結果(まとめ)
(http://www.env.go.jp/jishin/monitoring/results_r-pw-r01.html) より作成

福島県を中心に、宮城県、茨城県等、放射性物質による汚染の懸念がある地域の河川、湖沼等において、モニタリングが実施されました。

2019年度は、602地点でモニタリングが実施されており、水等に含まれる放射性セシウム、ストロンチウムの分析が行われました。

水質の放射性セシウム濃度の調査結果は以下のとおりです。なお、底質(河川、湖沼等の底の泥)の調査結果は、下巻P34「水環境放射性物質モニタリング調査(河川底質)」～下巻P36「水環境放射性物質モニタリング調査(沿岸域底質)」に掲載しています。

【水質の放射性セシウム濃度の調査結果】

河川(2004試料) 全て不検出

湖沼・水源地(1358試料) 福島県浜通りの14試料(6地点)で検出された以外、全て不検出

沿岸(534試料) 全て不検出

※検出された地点では、いずれも浮遊物質質量(SS)や濁度が比較的高い状況

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2021年3月31日